



白井中だより



千葉市立白井中学校

初めての生徒との出会い

校長 岸 美伸

4月13日（月）は2・3年生、14日（火）は新入生の登校日でした。私は朝、校門の前に立ち、初めて会うことのできる白井中の生徒の皆さんを心待ちにしておりました。保護者の車での送迎の生徒が多く、車の窓越しに目を合わせ、お辞儀での挨拶がほとんどでしたが、十数名の生徒と直接挨拶を交わすことができました。千葉市で一、二番を争うほど学区が広いと聞いておりましたので、さぞや長時間歩いてきたのだろうと、恐る恐る数名の生徒に「学校までどれくらいかかるのですか？」と聞いてみたところ、5分～10分の子が多く、そんな近い子もいるのかと、拍子抜けした感がありました。

また感心したことがありました。ある一人の女子生徒が私の前で立ち止まり、深々とお辞儀をして「校長先生、これから一年間よろしく願いいたします。」と挨拶をしてくれました。私も負けじとさらに深くお辞儀をして「こちらこそ、よろしく願います。」と返させていただきました。この挨拶で「白井中に来られてよかった。」「白井中の生徒の皆さんと早く学校生活を送りたい。」という気持ちがさらに湧いてきました。

また6名の女子生徒が楽しそうに話しながら登校してきました。よく見るとお互いが2m程度、前後左右距離を開けて、フォーメーションを組んでいるかのように歩いているのです。コロナウイルスの影響で沈みがちな世の中ですが、それを吹き飛ばしてくれるような素敵な光景でした。

その後、私は各学年の教室を回り、校長としての着任の挨拶と担任発表を行いました。その時の生徒達に話した内容を掲載させていただきます。

今年度から白井中学校の校長になりました。^{きし}岸 ^{よしのぶ}美伸と申します。

（マスクでは顔が見えないと思い、一瞬マスクを外し、堅かったかもしれない笑顔を振りまき、すぐにまたマスクを着用しました。）

私の「人となり」はこれから少しずつ紹介させていただきます。本日は時間がありませんので、すぐに本題に入ります。

先生方が皆さんが休みの間、心配していたのは、皆さんが「どんな生活をしているのか?」「規則正しい生活ができているか?」「ストレスをためていないか?」等でした。どうだったでしょうか。

ここで皆さんに質問です。「時間はお金と同じように非常に貴重なものなので、無駄に使わず、できる限り有効に使いましょう。」という意味の英語の諺^{ことわざ}を知っている人はいますか?。ヒントは、「Time is ?」です。簡単な日本語に直すと、「時は金なり」です。そう「Time is money」です。でも、私が思うにそうではありません。「Time is life」です。「life」とは日本語で何ですか?。そう「命」です。私も子どもの頃は時間は無限だと考えていましたが、限りがあります。使ったお金は働けば、また入ってきますが、「無駄にした時間、過ぎ去った時間」は戻ってきません。それは「大切な命」を削ってしまったのです。今現在の時間の使い方が、きっと将来の皆さんの人生に大きな影響を与えるでしょう。「ゲームのやり過ぎで、何事も面倒に思われてしまう人」になってしまっている人はいませんか?。「有効に時間を使い、自分を高められた人」、「自分流の時間割で過ごせた人」は、「その力」は絶対に大人になってから役立ちます。「立派な大人」になれます。もう一度ここでリセットして下さい。

続いて、ニュースで最近「三密」という言葉がよく出てきますが、説明できる人は手を挙げて下さい。今日配られる保健だよりイラスト入りでとてもわかりやすく書かれているのでよく見て下さい。

引き続き皆さんに、気を付けてほしいことは、①不要不急の外出を避け、②三密を避け、③手洗いうがいをしっかり行うということです。自分自身が感染しないでいることは、同時に人にもうつさないで済んでいます。皆さんが「学校に行かず頑張っていること」が、「家族や白井中、さらには日本に貢献していること」になるのです。皆さん、もうひと頑張り頑張り頑張ってください。

また、もし白井中の生徒、その家族、先生からコロナウイルス感染者が出たとしても、その人を責めてはいけません。その人が悪いのではなくコロナウイルスが悪いのです。

最後に、休業中に担任あるいは学年の先生が、皆さんの家に電話連絡してくれます。今日は時間がなくて相談できないことや悩みを是非相談してください。

※ちょうど今回の個別相談日に「学習計画・記録表」を配布しますので、それをしっかり作成してみてください。